**「官民による若手研究者発掘支援事業」研究開発提案書**

*＊提出書類のフォーマットは変更しないでください。*

*＊ＭＳ明朝、10.5ポイント以上。*

*＊青字・赤字の説明文は削除して提出してください。*

*＊ファイルのプロパティは削除して提出してください。*

*＊ファイル名は、【様式番号（添付資料番号）．ファイルタイトル\_所属機関名\_氏名】としてください。*

*＊提出書類ファイルはe-Radからアップロードしてください。*

*＊Macで作成したファイルはこちらのPC環境で正しく表示されないことがあります。Windowsで正しく表示されることを確認の上、ご提出ください。*

*＊提案書**（項目１．研究開発内容～３．研究開発計画）は****5ページ以内****で作成してください。*

*＊必要に応じて図表等を挿入してください。*

*＊情報の参照先としてURL等を記載する場合は、審査者が閲覧可能であること（限定公開されているサイトでないか、URL等が間違っていないか）を十分に確認してください*

**提案書及びその他提出書類に記載された技術情報の確認**

本提案書及びその他提出書類中には、保全対象発明の内容、特許庁における一次審査又は内閣府における保全審査中であって特定技術分野と関係し得る特許出願の詳細な技術情報、及び、出願予定の技術情報であって特定技術分野と関係し得る詳細な技術情報については記載されていません。

*確認の上、右記チェックボックスに✓を記入*

*＊公募要領の「９．留意事項」中の「特許出願の非公開に関する制度の留意点」に記載の通り、特許出願の非公開に関する制度を考慮し、記載・添付する技術情報の取扱いにご注意下さい。提案書及びその他提出書類中の技術情報の記載について確認をした後、上記の文章を必ず記載してください。*

**本事業の研究開発テーマ名：**

**共同研究フェーズのテーマ名：**

（実施計画期間：202X年●月～202X年●月）

※共同研究フェーズに関する情報は別途添付いたします。

**同時応募する共同研究フェーズへの提案書または実施中の共同研究フェーズ事業の実施計画書についての確認**

　当該共同研究フェーズの提案書または実施計画書を審査に活用することを、共同研究フェーズにおける助成事業の実施者である大学等に確認済です。

*確認の上、右記チェックボックスに✓を記入*

**１．研究開発内容**

１－１．研究開発の必要性（社会、産業への効果）

*＊提案する研究開発の成果を活用して解決を目指す社会又は産業の課題について、市場ニーズを踏まえ、可能な限りエビデンスに基づいて具体的に記載。*

*＊提案する研究開発がどのように共同研究フェーズでの事業成果の実用化の加速に資するかを具体的に記載。*

１－２．研究開発の目的

*＊１－１.で記載した必要性に対し、提案する研究開発でどのような解決策を実現しようとするか、基となる研究開発の現時点での状況も含めて、期待される研究成果とその応用先（製品・サービス等）を具体的に記載。*

１－３．研究開発の内容と目標

*＊１－２.で記載した目的について、提案する研究開発において達成を目指す目標を、マイルストーンを踏まえて、可能な限り定量的に記載。*

*＊提案する研究開発期間の目標について**、****「２．研究開発体制」、「３．研究開発計画」と対応させて****記載。*

１－４．類似の研究開発と本研究開発の優位性（革新性・独創性・有効性など）

*＊類似の研究開発があればその状況も含め、提案する研究開発の優位性（革新性・独創性・有効性など）を記載。*

１－５．実用化に向けての課題と解決策

*＊１－３．で記載した目標を達成した上で、研究開発の成果を実用化するにあたって、予想されるリスク等（市場変動、技術変革等）も踏まえ、さらに解決が必要な技術的・産業的課題を、想定される解決策と併せて記載。*

１－６．本事業で大学等との共同研究等を実施する必要性

*＊提案者（企業の若手研究者）が大学等との共同研究等を実施する必要性について、技術的・産業的観点から具体的に記載。*

*＊本事業は産学連携を自律的に企画立案・遂行できる人材の育成を目的の一つとしています。この目的に照らして、本事業をどのように活用したいのかを具体的に記載してください。例えば、大学等との共同研究の発展への効果や、所属する企業における研究開発推進への効果など。*

**２．研究開発体制**

*＊提案する研究開発期間の研究開発体制について、****「１－３．研究開発の内容と目標」、「３．研究開発計画」と対応させて****記載。*

*＊****助成金の交付先となる（若手研究者が所属する）企業、およびその若手研究者が博士（後期）課程へ入学予定の大学等を記載****してください。他に研究に関わる機関がある場合は、「１．研究開発内容」の中で記述してください。*

*＊提案者である****主任研究者1名****を指定してください（本フェーズにおいては、博士（後期）課程に在学して研究開発を実施する若手研究者1名につき1テーマとします）。
主任研究者の要件については公募要領４ (1) 参照。*

|  |
| --- |
| 助成先機関： 株式会社○○ |
| 区分 | 氏名 | 部署 | 役職 | 学位 | 年齢(2025/4/1時点） | 年齢制限の緩和要件に該当 |
| 主任研究者（提案者） | ＊＊　＊＊ | ●●部 |  | 修士 | \*\* | ✓ |

|  |
| --- |
| 入学する大学等： ○○法人○○大学　○○学部　○○学科　 |
| 指導教官：（氏名）○○　○○　（役職）教授 |
| 指導教官の専門分野：○○ |

**３．研究開発計画**

*＊提案する研究開発期間の研究開発計画について、****「１－３．研究開発の内容と目標」、「２．研究開発体制」と対応させて****記載。*

*＊必要に応じて行を追加／削除してください。*

*＊1テーマあたりの助成事業期間は最大3年間。但し、2年間を超える場合には、中間評価により研究開発実施内容の見直しや、研究開発を中止する場合があります。*

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発項目 | 事業期間（共同研究フェーズ（企業人材博士課程派遣型）） |
| 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 |
| 4-6月 | 7-9月 | 10-12月 | 1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | 10-12月 | 1-3月 | 4-6月 | 7-9月 | 10-12月 | 1-3月 |
| 研究開発項目Ａ．●●の開発A-1. ●●の調査A-2. ●●技術の開発A-3. ●●技術の開発A-4. ●●の開発 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究開発項目Ｂ．○○の分析B-1. ○○分析の検討B-2. ○○分析技術の開発B-3. ○○の分析 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究開発項目Ｃ．△△の検証C-1. △△技術の検証C-2. △△の検証 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

*※提案する研究開発期間分を記載。*

**中間評価**

*※期間外の部分はグレーアウトしてください。*

*※中間評価の実施時期は変更の可能性があります。*